

(2020/7/01)

春の葉もの野菜を混播・混植。

先月号で、葉物野菜の混播・混植の話を書きました。昨日(6/22)、タキイ種苗の友の会募集の特集号に、混播用の種子「フリーミックスグリーンズベビー」1袋1700粒 352円とありました。家庭菜園用に、コマツナ、ミズナ、ミブナ、カラシナ、雪白体采、などがあります。などが気になりますが、混播・混植について用意してあることが分かりました。シード・テープもありますので、その組み合わせで面白い菜園が出来そうです。フリーミックスとシードテープ発注。他の秋冬野菜も「タキイ」で決まり。

会員にはなりません。毎月送られてくる会誌は不要ですから、・・・「断捨離」の年齢になってしまいましたので、不要な物はいらないのであります。混播・混植をしばらく続けていきます。

6/22

混播用の種子(タキイ種苗)

6/22

トウモロコシ トマトに雨除けの筈



トウモロコシの雄花が花粉をバラマク。雌花の柱頭の束も覗く。(6/22)

長野東御市の御牧高原はジャガイモとトウモロコシの特産地です。甥が良く出かけるので、ついでに買ってきてもらいます。で、菜園では作らないでいました。

今年、手元にあった数年前のモロコシの種を蒔き床用トレーに蒔いたところ、とても元気に発芽しましたので、狭い菜園の畝に植える。

菜園58区の構造として、1/2は養分の濃い畝、作業路を挟んで隣の1/2は薄い畝を作りましたので、その肥沃度の状態を可視化しようとモロコシを植えてみました、ということもあります。以前「シルバー若竹会」の農園でもムギで確かめたことがありました。若竹の畑の広さは、は区農園の3倍ぐらいの広さでしたので、余裕でそのような試作が出来ました。畑の養分状態の可視化をしてみました。

肥沃度の濃い畝では、葉の色が濃緑、痩せ地では、淡い緑色。背丈も低く、茎も細い。イネ科植物で、可視化する。ここのが面白い。

イネ科の粟・黍・稗でも同様のことが分かります。イネ科の植物は成長が早く、刈り取って敷き藁として使えるし、マルチ材料にする。途中の位置で刈ると、勢い良く再生してきますので、緑肥として、使い道がある。



6/24 痩せ地のトウモロコシ 色が薄い 奥のモロコシは(沃地)緑が濃い 大玉トマトの雨除け

学生時代の事です、寮長をやっていた岡田君。校内の養豚所で、「豚糞」をもらい受けて「土作り」。私も一緒に野菜作りをやっていました。さすが、彼の所は愛知県の農家でしたからお手の物、上手に作りました。さすが!!!

一方私は、南大泉の小さな畑で、父の菜園のお手伝い程度の経験しかありませんでした。学校の畑は、「土」が出来ていたせいで、キャベツは、直径50cm余りの超大玉で、大収穫。「生田」～「上石神井」駅、…我が家に持ち帰るのが大変でした。両腕に1個づつ、2個も！水々しくて、サクサク、シャキシャク。甘い。

コロッケ・メンチカツ・カレー・豚カツ…と合わせていただきました。8人家族で、結構長い間食べました。当時としては、大層なご馳走でした。

通販で頼んだ「ほっとけカボチャ」の調子が良いので、「良くなるカボチャ」「節成りカボチャ」は処理、里芋の日当たりを改善しました。蔓や葉は、ナスの緑肥にしました。

「ほっとけは」中玉のようで、食味が楽しみです。生活通販のお任せ商品でしたので、味とかホクホク程度は解らない。「水ナス」「メロン」「瓜」「ミニトマト」…お任の注文の苗は、勝手に解らないので今回限りにしましょう。面白い面もありますが。メーカーの処分品なのではないでしょうか？…安かったので買いました。まー…様子を見て考えます。

「カボチャ」は、立体作りで、螺旋状に空に向かう。「水ナス」は、今のところ順当にget! 美味しい。「メロン」の芯留めはこれからです。「瓜」は、ピンポン玉程度の大きさの変わったウリのようなのです。お任せの「ミニトマト」は、U字支柱の上に誘引して、9月いっぱい収穫しましょう。今のところは、脇芽をせっせと欠いています。

実は約2kgほどになり、お尻が栗のようにとがります。

ツルが短く、種心も誘引も不要のほっとけ栽培。

●収穫時期:6~10月
●成長草丈:はい性(80~120cm)
●お届け状態:9cmポット

●税込2,178円
●32004

★別途送料700円(税抜) ※PVP



「関町3丁目区農園」で、「田中」さんから勉強させていただいております。 御年94歳との事で、大層の勉強家であります。 広島(呉)で被爆体験なさったとか。

「スイカの栽培が苦手なのですが、コツのコツは何でしょう？」 『3月の耕作区が決まったら、苦土石灰で消毒することだナ』 『3週間待って、自分の養成した土を入れることカナ』 『4月には定植、不織り布で保温する』 『マルチのシートを飛ばないように固定して、稲藁で保温』 『5月に入って芯を止めて、側枝を伸ばす』 『雌花の受粉、40日で完熟』 『側枝の誘因』 『根の先に少し離して、追肥』 『梅雨入りと共に果実が肥大してくるのでシートで覆う』 『よく観察することだ』 『スイカだってトマトだって愛情だよ』 『アブラムシには気を付けたいネ』 『日光と水!』。 『あなたねー、本で調べたり、話を聞いて分かるものではないですよ、』

「その薄赤い液体は何でしょうか？。もしかして、光合成細菌の溶液ではありませんか？」 『ムムムムムム……』 ノーコメント!!!!!! 見て学べ！ 体験して学べ！ か！ 大正生まれの方は、さすが厳しい。

今日(6/26)、はち切れんばかりのスイカが。 「受粉後の40日の日、メモしておくのですか」 『そんなことしないよ。沢山作るわけでもないし、自然と分かる。覚えているものだ』 参った、マイッタ。

昨年、田中さんの畑の近くの方からお聞きしたのですが、スイカ畑に牛糞堆肥を多用(20kg入り6袋)されていると聞いております。いわゆる「堆肥栽培」と言えそうだ。



スイカが見事 完璧なマルチ 1リットルの光合成細菌？ 田中氏の畑 右上は雨除けシート 6/25

来年3月、肥料の少ない南の畝を、先ず苦土石灰で消毒！ 東西に1本植えて、2本。収穫4個を目標にする。先ずは、スイカの用土を半年がかりで準備しよう。交差する中央部分に追肥か、ヤルゾ。

今年は、田中先輩のスイカの畑で、勉強します。お元気なうちに「見て学ぶ」、「作って学ぶ」か。大正生まれの方の厳しいお言葉、肝に銘じます。

「ヤマモモ」の収穫期に入りました。小庭に3本植えてあります。去年は実の重みでお隣りに侵入してしまいご迷惑をかけてしまいました。急遽野田君にお願いして、伐採。今年は、中央の1本に鈴生り。

一番大きい木にはブドウが絡み沢山の実がなっております。蔓性の植物は庭を駄目にします。そのせいで、一番太い樹は、大分弱っています。頃合いを見て蔓を払ってやらないと枯れそうです。街路樹程度の樹になっているので、枯れて倒れたら大変です。

遮光ネットを張りまして、落下してくるヤマモモをキャッチ。痛みが速いので直ぐに洗いまして、冷蔵庫に保存。実をよく見ますとヘタの近くに小穴。鳥たちのいたずらでしょうか。… ご希望の方に差し上げましたら、美味しい美味しいピンク色のジュースになり

まして、届きました。 作り方もよく説明いただきました。 我が家でも作れそうです。



6/29 ヤマモモの実



6/9 ジャボチカバ ブラックベリー

「ジャボチカバ」6回目の収穫が近い。 今まで、年6~7回程度かと思っておりましたが、12回は行けそうです。 冬季の越冬期に加温して葉を落とさない。 が、コツのようである。 でもこれほど食べられるなら、元は十分にとれている。

春から実を付ける、そこがポイントだ。 春先に、親指ぐらいの幹に、白い花が。 巨峰のような実が幹肌を覆うように実る。 完熟すると良い香り。とても甘い。 過熟すると酵母菌の働きでお酒臭くなる。 ウツマイ。 年間10か月は期待できそう。 花が着き出したら、~~湿~~湿気味に給水する。 指で土に触れて、乾いているのを確認して(待つ)、給水。 この繰り返しで調子が良い。

追肥は、ミミズのいるような「土」と「グリーンランド」(醗酵厩肥)「ダルマ堆肥」(タキイ)で、OK。 弱酸性の状態が良い。 生育の調子を落とした場合、カプセル容器の栄養剤を鉢の表面に差し込んでいる。(4~5年に1度)

果実を食べたら、種子の表面のぬめりを落として蒔きます、良く発芽します。 5年ほど経ちま~~ち~~て、幹が小指ぐらいの太さになりますと花芽が膨らんできます。 低温に~~あ~~いますと、花芽が幹に収まってしま~~う~~ところが面白い。 18℃にしますと再び花芽が現れます。

「土」を作り、「温度」「日光」「水」で美味しい果実がいただけます。 病虫害の薬剤噴霧するようなことは全く、ありません。



6/23 クワイを植えたコンテナ



6/25 レンコンを植えたコンテナ

畑の中に水槽(コンテナ)を埋めて、クワイ、食用姫レンコン、せり、カワホネ、を植えてみました。 蚊が発生するのでメダカを放つ。 T